

# 成果報告書

(地域部活動推進事業)

大多喜町立大多喜中学校

所在地	千葉県夷隅郡大多喜町
運営主体	大多喜中学校後援会
事業目標	<p>休日の地域部活動を下記により実践し、持続可能な部活動の運営と教員の負担軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移行する部活動数・・・1部活(吹奏楽)</li> <li>○ 地域部活動の実施期間・・・6月～2月</li> <li>○ 活動の頻度・・・実施期間内の週1回(土曜または日曜)3時間以内</li> <li>○ 確保する指導者数・・・外部指導員(常勤及び臨時講師)、兼業教員</li> </ul>
団体・組織等の連携	
活動場所	<p>大多喜町立大多喜中学校 千葉県立大多喜高等学校 大多喜町公民館</p>
活動概要	<p>大多喜中学校吹奏楽部は意欲の高い生徒が多く、積極的に活動を行っている。主顧問が家庭の事情で休日の部活動を行うことが難しい。そのため、専門的な知識や技術を持ち、長年、県立高等学校で吹奏楽部の指導をしてきた退職教員に、地域指導者として休日の活動を依頼している。</p>

## ○本事業による成果

本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

※教員の働き方改革、生徒の活動成果等を観点に盛り込む。(必須)

<生徒>

- ・外部講師による専門性の高い指導を受けることができ、意識の高い生徒にとって休日の部活動が充実した。
- ・財政面での補助により、昨年よりも家庭の個人負担が軽減した。

<教員>

- ・教員は技能面の指導に対する負担が軽減した。
- ・副顧問は学校の解・施錠の負担が減った。吹奏楽に関する知識がない副顧問は、音楽面の指導に対する精神的な負担から解放された。

<事業>

- ・学校外の施設を活動場所にする際の課題が明らかになった。
- ・謝金の所得税の処理等、地域部活動の実施主体が完全に独立した事業主となったときの問題点が明らかになった。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載する。

- ・休日の部活動を専門的な知識や技術を持っている外部講師から指導を受けることで、質の高い充実した活動につながり、生徒の意欲向上や技術向上を図ることができた。
- ・休日の地域部活動を平日の学校部活動の延長と位置づけて委託することにより、学校部活動での顧問や生徒の取り組みが、地域部活動に十分反映される。

## ○運営上の工夫

運営する上で工夫している点を記載する。

- ・当初は中学校内での活動を中心に行っていたが、校舎の解錠、施錠の管理を教職員が行うことになり、休日勤務の負担が解消されなかった。休日の教員の負担を減らすため、年度途中から町内の高等学校や町の公民館を利用して活動した。
- ・持ち運びの難しい、大きな打楽器等は高等学校を会場にすることによって解消された。また、高校生から教えてもらったり、一緒に活動したりすることで技能面が大幅に向上した。

## ○継続的な運営に関する課題

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題を記載する。

- 1 学校を中心に活動する場合
  - ・解錠、施錠等、教員の関与が必要となり、教員の負担軽減につながらない。
- 2 学校外の施設を中心に活動する場合
  - ・外部講師と生徒・保護者の契約が必要である。（事故、補償、苦情対応、運営費等会計処理）
  - ・練習が過度にならないよう、学校の部活動との調整、学校と地域指導者の連携が必要である。
  - ・コンクールへの参加形態について検討する必要がある。
  - ・高等学校で行う場合、大会の時期が重なり迷惑をかけることになる。
  - ・公民館で行う場合、大きな楽器の移動が困難である。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

- ・地域の実情から、外部の任意団体に部活動全体を委ねる体制の構築は難しいため、校内の部活動を基盤とし、外部講師を招へいすることで、部活動顧問としての教員の負担を軽減していく。
- ・家庭の事情等、恵まれた希望者だけが恩恵を受けられるといった、学校部活動内の分断が起きないように、一人も取り残すことなく、すべての部員が意欲的に参加でき、有意義な活動とするための部活動の在り方について模索していく。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

募集方法	大多喜町立大多喜中学校吹奏楽部に所属する生徒の中から募集
指導者	元県立高等学校吹奏楽部顧問1名 兼業教員3名
移動手段	保護者による送迎
活動費用	指導者謝金 1600円/時 ピアノ伴奏料 8000円/回 コンクール等参加バス借上 60000円/1回
スケジュール	週1回 土曜日または日曜日 1回3時間
保険加入等	スポーツ安全保険へ加入

※文化庁ホームページ:地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 [事例集](#)を参照

掲載URL

([https://www.bunka.go.jp/shinsei\\_boshu/kobo/pdf/92801101\\_09.pdf](https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf))

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

【活動の様子（写真添付）】

